

## 第50回 ハイキング・クラブ例会 開催報告

### 旧日光街道「千住宿」散策

世話人 古屋 榮三

◇日 時 平成25年5月18日（土）午前10時30分集合

◇集合場所 JR・常磐線 南千住駅 改札口

◇行 程 延命時・小塚原刑場跡→回向院→火葬場跡→円通寺→都電三ノ輪橋停留場  
→天王公園→素盞雄神社→千住大橋→大橋公園→橋戸稲荷神社→芭蕉塚→  
千住宿プチテラス→源長寺→金蔵寺→勝専寺→千住宿本陣跡・見番横丁→  
絵馬屋吉田屋・横山家住宅→名倉医院→氷川神社→長円寺→北千住駅

初夏の爽やかな日差しに恵まれた日に、常磐線南千住駅に16名が集合。

当日は、俳聖松尾芭蕉が千住大橋のたもとから「奥の細道」に旅立った日といわれ、駅改札前の広場には30名を超える俳句愛好家が集合していました。

当方は荒川区観光振興課の観光ボランティアガイド3名の方より順次各所の丁寧な説明を聞きながら行程を進めました。東海道、中仙道、甲州街道、日光街道、奥州街道を「江戸の五街道」と総称される様に、品川宿、板橋宿、内藤宿、千住宿は「江戸の四宿」と言われます。これでは「五街道」より「初宿」が一つ少ないように思えるがそれもそのはずで千住宿は日光街道と奥州街道の初宿を兼ねており、さらにここから分岐する水戸街道、下妻街道といった脇往還の宿場でした。江戸から宇都宮を経由して日光へ至る道を日光街道、宇都宮よりさらに東北の白川方面へ向う道を奥州街道と言いました。

千住宿は、参勤交代制度の強化に加え、日光へ参詣する大名行列が頻繁に往来したこともあって江戸時代を通じて発展を続け、範囲も拡大されて行きました。

隅田川を千住大橋ではさんで、足立区の北千住が発展し、後日荒川区の南千住に範囲が広がって行き現在に至っています。名所・旧跡を訪ね、教養を深めた5時間でした。

参加者（敬称略）16名

岩田芳秀、遠藤哲也、川島省三、川股賢三、木頃勝紀、白岩仙一、住田勝治、中島公一、西長義方、野田 佑、蓮田周男、花岡秀男、牧田賢二、山田昌之、六角 学、古屋榮三



第50回ハイキングサークル例会

素盞雄神社境内で 平成25年5月18日（土）

- ・世話人古屋さんから、コースの案内と注意事項の説明



＊延命時・小塚原刑場跡＊



\*円通寺



\*都電三ノ輪橋停留場



\* 素盞雄神社



\* 千住大橋



\* 千住宿プチテラスでボランティアさんから散策したコースの説明



お疲れ様でした